



VISH株式会社

代表取締役・TABUCHI HIROYUKI

田淵 浩之さん

大切な時間、ICTでつくり出す

受託から 自社サービスへの転換

当社は2004年に愛知県のインキュベーション施設「あいちベンチャーハウス」で創業しました。当社の創業者がシステム開発会社に勤めていた経験を活かして、ITエンジニア派遣と受託開発を中心に事業を行っていましたが、翌年、名古屋市内にある自動車教習所の送迎バスに関する業務改善システムに携わったことが大きな転機となりました。当時、自動車教習所の窓口では、通学者から送迎バスの発着確認に関する問合せが頻繁にあり、事務負担の軽減が課題となっていました。

これまでの受託開発から、自社サービスの提供へと事業をシフトすることに成功し、安定した収益を生み出せるようになりました。

2度のM&Aを経て 会社の基盤を強化していく

私は大学卒業後、システム開発会社のエンジニアをしていましたが、当社の創業者に誘われて、創業の翌年にCTO(最高技術責任者)として入社しました。入社後は「バスキャッチ」の機能強化に向けて試行錯誤を重ねていき、2010年に幼稚園・保育園・認定こども園向けICTシステム「園支援システム+バスキャッチ」のリリースに繋げることができました。園支援システムは、幼稚園などの教職員向けに便利な機能を設けました。保護者との連絡手段のデジタル化はもちろん、官公庁に提出する各種申請書類作成や、送迎バス内での置き去り防止機能などを新たに追加することで、保育士の皆さまが子どもたちの保育に専念する時間を増やすことができ、大変好評をいただいています。また、カスタマーサクセス実現のためにお客様からの改修要望は基本的に無償で対応しています。お客様が求めていることを噛み砕いて把握し、最適な解決方法を提案できるよう心がけています。

そうした中で、2017年にM&Aにより(株)VAL研究所の子会社となり、2021年に2度目のM&Aで(株)SHIFITの子会社となったタイミングで、当社の代

表に就任しました。当社は創業以来、業況拡大が続けてまいりましたが、その分、バックオフィスの強化などが課題となっていました。M&Aを通じて、様々なノウハウを取り入れることができ、当社の経営基盤の強化に繋がったと感じています。

療育に携わり、 質の高いサービスを 提供していく

現在は、児童発達支援・放課後等デイサービス向けクラウドサービス「コノベル」の展開に力を入れています。昨今、児童福祉施設は急速に増えている一方で、施設のICT環境が追いついていない状況を目の当たりにしたことから、子どもの施設での様子や体調面などの記録をオンラインで確認できる環境を整え、子どもと向き合える時間を増やしていくことを目的に、当サービスを開発しました。

この事業は、親会社のビジネスプランコンテストでプレゼンを行なったところ、好評を得たこともあり、新たな事業の柱として会社一丸となって開発に取り組み、2023年にリリースすることができました。

当社は創業以来、様々な変化を遂げてきましたが、お客様に寄り添うこと、サービス自体をお客様とともに育てていくことは変わらずに「ここまで来れたと思いません。今年で創業20年目を迎えますが、今後は「質の高いサービスを、誰よりも早く公平に届ける」という理念の下、療育業界のDXナンバーワンを目指して、取り組んでいきたいと思えます。



放課後等デイサービス向けアプリ「コノベル(写真左下)」では、保護者の皆さまに子どもの様子を動画などで共有することで、子どもの日々の成長を確認いただいています(写真上)。また、連絡帳機能(写真右下)などを搭載することで、施設スタッフの業務軽減に繋がり、子どもと向き合える時間を増やしています。より多くの施設で当サービスをご利用いただけるよう無償プランも提供しています。

Column

愛用のアイテム紹介 /

骨伝導ヘッドセット



現在、社員の7~8割がリモートワークを実施しており、オンラインでのミーティングが増えています。私は、使用するツールや機器の違いを意識することなくやり取りできるBluetoothの骨伝導ヘッドセットを愛用しています。

Company Data | 会社概要



VISH株式会社

【創業】2004年
【所在地】名古屋市中区錦2丁目10-13
SC錦ANNEX5F
【TEL】052-232-2311
【URL】https://www.vish.co.jp/
【事業内容】クラウドサービス提供事業、システム開発、技術支援事業

